



地域医療センター  
地域医療連携通信

# 5

MAY.2008  
Vol.31

● 外来診療時間 ●

午前8時30分～正午  
午後1時～午後4時30分  
(休診日)  
土・日・祝日



新しい高知医療センターのパンフレットと総合案内・受付スタッフ

## 目次：CONTENTS

- 2 地域医療センターの主要メンバーが変わりました
- 3 *Ask Our Professionals! No.1*
- 4 高知医療センターの新任医師のご紹介
- 5 第13回高知医療センター職員による学会出張報告
- 6 地域医療連携病院のご紹介
- 7 高知医療センター イベント情報

高知医療センターの基本理念  
医療の主人公は患者さん

高知医療センターの基本目標

1. 医療の質の向上
2. 患者さんサービスの向上
3. 病院経営の効率化

平成20年5月1日発行  
にじ 5月号(第31号)  
責任者:堀見 忠司  
編集人:地域医療連携広報委員  
特別編集委員  
発行元:高知医療センター  
地域医療連携本部  
印刷:共和印刷株式会社

高知医療センター  
〒781-8555 高知県高知市池2125-1  
TEL:088(837)3000(代)

# 地域医療センターの主要メンバーが変わりました！

新しいメンバーでこれからも頑張ります！よろしくお願いいたします！



## にしおか ゆたか 地域医療センター長 西岡 豊

この度、深田順一前地域医療センター長の後任として、地域医療センター長に任命されました。

いつも、当センターにたくさんの患者さんのご紹介をいただくと共に、たくさんの逆紹介の患者さんを受け入れていただき、誠にありがとうございます。

この地域医療センターは、高知医療センターと地域の医療機関との病診・病々連携をスムーズに行うための非常に重要な機能であり、当センターの活動が成り立っているのは、地域の医療機関の方々の支えによるものであります。

医療センターも今年で4年目を向かえておりま

すが、取り巻く環境には厳しいものがあります。医師不足と地域医療の崩壊が伝えられている今こそ、地域医療支援病院として、地域の医療機関から愛される新しい地域医療センターを目指して行きたいと考えています。

地域の医療機関の皆さまには今までと同様、患者さんのご紹介と共に、開放病床、医療機器共同利用等のご協力もよろしくお願いいたします。また、症例検討会、そして講習会・研修会も積極的に行っていきたいと考えていますので、日頃の診療でお忙しいとは存じますが奮ってご参加いただきたいと思います。

高知医療センターは地域の医療機関のご支援なくしては成り立たない病院です。地域医療センターは、まだ至らぬところも多々あるとは存じますが、引き続きご支援をよろしくお願い申し上げます。



## おおにし のぶこ 主任看護部長 大西 信子

4月1日付けで地域医療連携室へ異動となり、「地域医療連携」に関連した本や資料を横に置き、忙しい日々を送っています。まだ数週間しかたっていない

ませんが、日々の業務を通して、本当に地域医療連携室は「病院の顔」であるということを痛感しながら職務の重要性を実感しています。

地域医療連携室における私の役割は、高知医療

センターの地域医療連携業務がスムーズに遂行できるように、気配り心配りをしながら、それぞれの職種の役割機能を十二分に発揮できる環境作りをすることだと思っています。

これからは、地域医療連携業務に関する知識を深め、患者さんやご家族の気持ちになって、一つひとつの関わりを大切にしながら、各入院フロアにも積極的に出向き、患者さんやご家族に「本当に良かった」と感じてもらえるように、地域医療連携を盛り立てて行きたいと思っています。

これからも高知医療センター・地域医療センターの地域医療連携室をどうぞよろしくお願いいたします。

新企画が  
始まりました!

# Ask our professionals! No.1

地域の先生方が、日々の診療の中で遭遇した疑問、情報収集の過程で浮かんできた質問などに、高知医療センターのスタッフ（医師）がお答えするコーナーです。今後、適宜掲載予定です。

## Q:質問「リエントリーについて」(高知市 医師A・F先生より)

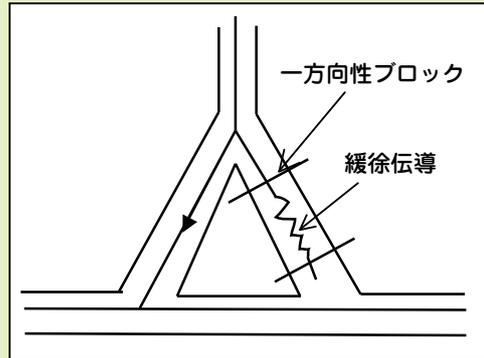
リエントリーが成立するためには緩徐伝導路が必要であるが、ある不整脈がリエントリーによっているかを知るために、緩徐伝導路を検出する方法があるようだが、どうやって検出するのか？

## A:お答え(回答者:循環器科 山本克人)



直接的に緩徐伝導路部位を特定することは、なかなか困難です。しかし、頻拍中に回路の2点間を計測できれば、電動遅延が分かるかも知れません。また、ちょうど緩徐伝導路部位に電極カテテルが当たれば、疾患によ

ってはFragmentationと呼ばれるギザギザした幅広い電位が記録されることがあります。なお、頻拍が解剖学的に固定したリエントリーであることを示唆するには、①プログラム刺激で再現性をもって容易に誘発され、停止すること、②早期刺激法にて、連結期と刺激から第1拍目の時間が逆相関すること、③頻拍中の刺激でresetやentrainmentが生じること、などです。



## ご質問は下記の方法で質問をお送りください ※電話でのお問合せはご容赦ください

1. ハガキまたは封書にて  
〒781-8555 高知市池2125-1  
担当: 高知医療ピーエフアイ(株) にじ担当者 尾崎まで
2. メールにて  
renkei@khsc.co.jp にじ担当者 尾崎まで

## 質問の際、以下の記入をお願いいたします

1. 質問者のお名前、医療施設名、診療科名
2. 質問内容
3. ご希望する回答者の有無など

## 質問の回答について

1. ご質問にはその到着から2週間程度以内でお返事することを原則とします。即答はできかねますのでご了承ください。
2. 質問者のお名前を匿名化した上で、ご質問と答えを「にじ」誌上に掲載させていただくことがあります。
3. お受けできる質問の内容、範囲については、特定の患者さんの画像の読影、心電図診断、検査値の解釈など、医療行為そのものに該当するものは、即座の対応が保障できないことによるトラブルが予想されるのみならず、対応に対する責任の所在が問題になり得ることなどの理由によりお受けできませんので、ご了承ください。
4. ご質問をいただいたハガキや封書の返送をご希望の場合は、その旨をお書きください。



皆さまからのご質問をお待ちしています

# 新任医師 のご紹介

この度、4月より高知医療センターに新しく赴任されたスタッフの先生方、およびご紹介が遅くなりましたが前年度後半以降に赴任された先生方、また今年4月に専修医から医師採用されました先生方、そして4月から専修医として当院にいられました先生方のご紹介をいたします。

①所属科 ②経験年数 ③専門分野 ④職歴 ⑤所属学会、認定医、専門医指導医など ⑥趣味 ⑦地域の先生からへのご挨拶

## 血液・輸血科 うえむらよしき 上村由樹 (診療科長)

①血液・輸血科 ②25年目 ③血液内科  
④平成19年9月より高知医療センター血液・輸血科勤務



⑤日本内科学会(内科認定医、内科専門医、指導医)、日本血液学会(認定専門医、指導医)、日本臨床腫瘍学会、日本呼吸器学会  
⑥釣り、テニス、ジョギング、水泳  
⑦私は高知大学医学部(旧高知医科大学)の第一期卒業生で、母校の第三内科(血液・呼吸器内科学講座)で長く血液疾患の臨床や研究、学生の教育に携わってききましたが平成19年9月より高知医療センター血液・輸血科に赴任して参りました。大勢の患者さんに忙しい毎日ではありますが、できうる限り丁寧な診療を心がけています。この機会に名前を知っていただければ幸いです。今後ともよろしくお願いたします。

## 眼科 おおばけいすけ 大庭啓介

①眼科 ②19年目  
③糖尿病網膜症などの網膜硝子体疾患  
④長崎大学卒業後、長崎大学医学部附属病院、健康保険諫早総合病院などで勤務し、長崎市立市民病院主任医長の後、今春より高知医療センター勤務  
⑤日本眼科学会専門医 ⑥ゴルフ  
⑦土佐高校卒業以来24年ぶりに高知県に帰ってきました。時々には帰っていたのですが、高知市、県内の変化に日常生活でもまだ戸惑っています。今回高知医療センターで勤務させてもらうことになりましたが、まだまだ高知県の眼科のことや、他科の先生方なことなどわからないことばかりです。まずは当院の電子カルテなどの病院システムに慣れることでいっばいですが、少しずつ周りの先生方と連携させていただければと考えています。眼科科長である市川理恵先生のもと勤務させてもらっていますが、先生のご専門である斜視に関しては勉強不足で不十分な知識しか持ち合わせておりませんが、こちらに赴任するまで市中病院で勤務、治療を行っていましたので、白内障、緑内障などの眼科一般の手術治療や糖尿病網膜症、網膜剥離などの網膜硝子体疾患の手術、治療に関してはお手伝いできるのではないかと考えております。これから皆さまよろしくお願いたします。



## 腎臓・膠原病科 まつおかたかし 松岡孝至

①腎臓・膠原病科 ②13年目  
③腎臓・膠原病科、内分泌代謝  
④岡山大学第三内科入局、岡山大学医学部附属病院、尾道市民病院、佐用中央病院、岩国医療センターを経て、平成20年4月より高知医療センター勤務  
⑤内科学会内科専門医、腎臓学会腎臓専門医、糖尿病学会糖尿病専門医  
⑥自転車と語学(どちらもあまりやっていません)  
⑦この度、高知医療センターに赴任した松岡です。今までは、主に糖尿病内分泌の診療に関わっていました。この度は腎臓・膠原病科として赴任しましたので、しばらくは初心に戻り勉強させていただく毎日です。皆さまのご指導ご鞭撻をよろしくお願いたします。



## 呼吸器外科 おかもとたく 岡本卓 (診療科長)

①呼吸器外科 ②14年目  
③呼吸器外科全般(肺がん、縦隔腫瘍、気胸、膿胸など)  
④香川医科大学医学部附属病院第二外科助手、福井赤十字病院呼吸器外科副部長を経て、平成20年4月より高知医療センター呼吸器外科勤務



⑤所属学会：日本外科学会、日本胸部外科学会、日本呼吸器外科学会、日本肺癌学会、日本呼吸器内視鏡学会、日本移植学会、日本臨床腫瘍学会  
認定医、指導医、専門医：日本外科学会認定医・専門医、日本胸部外科学会認定医、日本呼吸器外科学会指導医、呼吸器外科専門医、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医、日本がん治療認定医機構暫定教育医、日本臨床腫瘍学会暫定指導医

⑥—  
⑦高知医療センター関係医療機関の皆さま、本年4月1日に福井赤十字病院から参りました岡本卓と申します。3年半ぶりに四国に参りました。これまで、肺がんを中心とした呼吸器疾患の外科的診療をしています。関係医療機関の皆さまのお力を基に、治療成績はもちろんでありますが、何より患者さんの幸せに結びつく診療ができればと思っています。若輩ではございますが、よろしくお願申し上げます。

## 呼吸器外科 なかしまたかし 中島尊

①呼吸器外科 ②11年目  
③呼吸器外科一般 ④—  
⑤外科学会専門医、呼吸器外科学会専門医  
⑥—



⑦当科では手術だけではなく、肺がんに対する抗がん剤治療、放射線治療を含めた集学的治療を行っております。また、感染症や外傷症例も診察しております。呼吸器症例がございましたらいつでもご紹介ください。

## 消化器科 うかみきのり 宇賀公宣

①消化器内科 ②10年目 ③肝疾患  
④広島大学および関連施設と虎の門病院肝臓センターを経て平成20年4月より高知医療センター消化器科勤務  
⑤内科学会、消化器病学会、肝臓学会、肝癌研究会所属、内科認定医取得  
⑥スポーツ



⑦今年4月より採用となりました。今までは肝疾患(肝がんのラジオ波治療、インターフェロン療法を含む抗ウイルス療法等)を主に経験してきました。慢性肝炎、肝硬変、肝がんの治療およびフォローアップなどで症例がありましたら、ご連絡ください。よろしくお願いたします。

## 小児外科 うすいよしこ 薄井佳子

①小児外科 ②10年目 ③小児外科一般  
④小児科、成人外科を経て、4年前から小児外来専門で診察しています。平成20年1月より高知医療センター小児外科勤務  
⑤日本小児外科学会、日本外科学会(認定医)、日本小児泌尿器科学会、日本小児放射線学会 ⑥水泳、旅行



⑦治療そのものだけでなく、辛い入院生活を少しでも楽しく明るくできるように努力しています。

にしやまたけし  
**整形外科 西山武**

- ①整形外科 ②10年目 ③外傷  
④岡山大学附属病院、吉備高原リハビリテーション病院 国立福山病院、香川県中央病院、平成19年8月より高知医療センター整形外科に勤務  
⑤整形外科専門医  
⑥格闘技、雑談  
⑦「いつもにこにこ明るく軽く」がモットーです。当院の機能上、患者さん優先ではありますが、整形外科的な問題のある方には、できる限り対応していきたいと考えています。よろしくお願いたします。



にしむらたか お  
**消化器外科 西村公男**

- ①消化器外科 ②6年目  
③消化器がん、甲状腺腫瘍、副甲状腺機能亢進症  
④大学病院1年、高知市民病院1年、高知医療センター3年（専修医）を経て平成20年4月より消化器外科勤務  
⑤日本外科学会、日本消化器外科学会、日本内視鏡外科学会 ⑥—  
⑦胃がん、大腸がんなどの消化器がん、甲状腺、副甲状腺などの内分泌外科について経験を積んできました。



おおにしともこ  
**消化器科 大西知子**

- ①消化器科 ②10年目  
③消化器内科（消化管）  
④高知大学医学部附属病院第1内科を経て、平成19年8月より高知医療センター消化器科勤務  
⑤内科認定医、消化器内視鏡専門医、消化器内科専門医  
⑥ドライブ、読書  
⑦いろいろ不慣れなこともあると思いますが、これからもよろしくお願いたします。



にし の たけし  
**消化器外科 西野豪志（専修医）**

- ①消化器外科 ②5年目 ③消化器外科  
④徳島大学臨床研修、高知赤十字病院外科を経て、平成20年4月より高知医療センター消化器外科勤務  
⑤日本外科学会、腹部救急医学会など  
⑥料理  
⑦外科専修医として平成20年4月より高知医療センター消化器外科で勤務しています。よろしくお願いたします。



ふるきたか ずひろ  
**皮膚科 古北一泰（専修医）**

- ①皮膚科 ②5年目 ③皮膚一般  
④徳島大学病院、四国中央病院を経て、高知医療センター（専修医）勤務  
⑤日本皮膚科学会、日本皮膚科学会西部支部  
⑥スポーツ観戦、コンサートめぐり、映画鑑賞  
⑦高知にきてはや1年たち、こちらの生活にも慣れてきました。今後も優しく、丁寧な診療を心がけていきますので、よろしくお願いたします。皮膚関連で聞きたいことや困ったことがあれば遠慮なくお申し出ください。



たけゆたか  
**循環器科 武寛**

- ①循環器科 ②8年目 ③循環器  
④平成20年4月より高知医療センター循環器科勤務  
⑤内科学会認定医、循環器専門医  
⑥—  
⑦高知へ来てからまだ日が浅いですが、患者さん中心の循環器治療を行っていきますので、何卒よろしくお願いたします。



べっく けんすけ  
**泌尿器科 別宮謙介**

- ①泌尿器科 ②7年目 ③泌尿器科全般  
④国立病院機構岩国医療センター泌尿器科、広島市民病院泌尿器科を経て、平成20年4月より高知医療センター泌尿器科勤務  
⑤日本泌尿器科学会専門医、日本Endourology ESWL学会  
⑥スポーツ観戦  
⑦4月より高知医療センター泌尿器科に赴任して参りました別宮（べっく）と申します。自然豊かな環境の中、最新の設備が整った病院に勤務できることに喜びを感じています。泌尿器科全般の診療に精一杯取り組んで参りたいと思いますので、今後とも何卒よろしくお願申し上げます。



やましたゆう たらう  
**形成外科 山下雄太郎（専修医）**

- ①形成外科 ②4年目 ③形成全般  
④健康保険鳴門病院、徳島大学病院を経て、高知医療センター専修医として勤務  
⑤形成外科学会、熱傷学会  
⑥バドミントン  
⑦徳島で2年の研修期間を終えて形成外科としては2年目になります。ようやく高知医療センターのシステムにも慣れてきたので、これからもっと形成外科医として医療に貢献していきたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。



**退職者（敬称略）**

- 1月末付、林 暢紹（眼科）  
3月末付、田口 英詞（循環器科）  
土井 英之（整形外科）  
古北 由仁（消化器外科）  
山遠 剛（小児科）  
長谷川 俊水（産婦人科）  
松倉 規（呼吸器外科）  
溝渕 雅之（救命救急科）

次回、6月号では新・研修医のご紹介を予定しています。

おおば まほ  
**麻酔科 大庭真帆**

- ①麻酔科 ②6年目 ③麻酔  
④愛媛県立中央病院（スーパーローテート研修医）、岡山大学麻酔科非常勤、香川県立中央病院麻酔科（専修医）、高知医療センター麻酔科（専修医）、平成20年4月より高知医療センター麻酔科勤務  
⑤日本麻酔科学会認定医、麻酔科標榜医  
⑥旅行、買物  
⑦手術室で麻酔をしています。よろしくお願いたします。



## 第13回：医療センター職員による学会出張報告



高知医療センターの医師はいろいろな学会に参加しています。そのなかから、学会レポートをご紹介します。

### 第51回日本形成外科学会総会・ 学術総会 in 名古屋

平成20年4月9日～11日

形成外科 原田 浩史



(会場前にて)

平成20年4月9日から11日まで、名古屋国際会議場において第51回日本形成外科学会総会・学術集会在行われ、参加させていただきました。

形成外科学会では春と秋に学術集会を行っています。春が臨床中心、秋は基礎が中心の学会になっています。形成外科学会会員数は現在4,000人余りと他の学会に比べると小さいと思いますが、春の学会には1,800人前後が参加し、形成外科関連の学会では最大規模のものです。前回は第50回という節目の会で、今回の学会のテーマは「創造的飛躍と統合—今後の50年に向けて—」というものでした。

プログラムは多岐に渡りますが、カテゴリーとして大雑把に分類すると整容のみならず機能をより追求した再建、難治性潰瘍に対する治療(創傷治癒)、アンチエイジングを含めた次世代の美容外科に大別できるように思い

ます。

再建のトピックスとして、招待講演で2題facial transplantationに関するものがありました。すなわち、他人の顔面を移植するというものです。実際に鼻から頬部にかけての欠損に対して骨、耳下腺を含む組織を移植し成功した中国のShuzhong先生は、今後の治療方法選択の一つになりうると述べられました。しかしアメリカのSiemionow先生は、ラットの実験で100例以上のさまざまなタイプの顔面移植を行い成功しているものの、倫理面も含めhumanに適応できるかは疑問と考えているようで、お国柄が出ているように感じられ、興味深いものがありました。

数年前から他人の手、上肢の移植が世界で10例ほど行われ、その是非に関して議論がなされていますが、同様の議論が巻き起こる手技であることは間違いなく、我が国での実行はおそらく不可能だろうと感じました。

一方、美容外科に関する演題はほとんど聴く機会がなかったのですが、学会場には美しくスタイルのよい、モデルのような女医さんがたくさんいて、10年前には考えられない状況になっています。私が主に聴いていた再建外科の演題では、ほとんどそんな方はお見かけしなかったのもともと美しい人が美容外科に興味を持つんだなあと妙に納得させられました。美容外科の患者さんにとっては、施術者が美しい方が説得力がありそうで、私たちのような中年のおじさんは再建外科方面で頑張ろうと決意をあらたにいたしました。

夜は手羽先で有名な「世界のやまちゃん」で手羽先、味噌カツ、きしめんなどの名古屋名物をまとめて堪能しました。地ビールに「赤味噌ビール」というのを発見したので、さすが名古屋と思い早速注文しましたが、味噌の味はせずちょっと薄めの黒ビールという感じでした。名古屋は予想以上に元気な街で、久しぶりに何か自分も頑張らないといけないなと思える3日間でした。



## 医療法人高橋会 高知いちょう病院

〒780-0921 高知市井口町 11  
電話：088 (875) 8105 FAX：088 (822) 6667  
URL：http://www.e-kochiichou.com

(診療科)

内科、胃腸科、大腸肛門科

(専門外来)

女性専門外来、男性外来、ダイエット外来



写真：左から岡林佐枝子さん、寺本真紀さん、高橋亜佐子院長、高橋謙介副院長

医療法人高橋会高知いちょう病院は、昭和 47 年に胃腸科の専門病院として開院し、平成 11 年にリニューアルしました。病床数は 27 床です。病院の内装もとても落ち着いた居心地のよい雰囲気であり、また、男性と女性が交差しないような導線で、患者さんがリラックスできるように配慮されています。また、女性を対象とした健康サークル「銀杏会」を設立し、年間テーマ（今年はアンチエイジング）に沿って講演会などを行っています。

今回は、高橋亜佐子院長と高橋謙介副院長、そして医療連携相談室の岡林佐枝子さんにお話を伺いました。

Q：貴院についてお聞かせいただけますか？

A：平成 11 年にリニューアルし、52 床から 27 床になりました。27 床のうち 2 床は特別室で、ご夫婦で入院ができるようにしていますので、実質は 25 床です。病院としては小さな規模ですが、小さな規模だからこそ患者様一人ひとりにとってベストな医療をという意味で、「小さくてもベストな医療」という理念と「女性にやさしい医療」という理念を二つ掲げています。女性にやさしい医療ということで、平成 12 年 12 月に女性外来を設けました。検査に関しましても男性と女性の導線が交差しないようにしています。3 階、4 階が病棟になっていますが基本的にはフロアをわけており、3 階が女性フロア、4 階が男性フロアとしています。病室は 4 床室が女性は 2 室、男性は 1 室の 3 室で、あとは個室としていまして、なるだけ病院で治療しているというよりはできればご自宅で療養しているような環境作り、それと接遇を含めての対応、なるだけきめ細やかな医療ということが一番の方針です。

Q：やはり女性は女性の先生に診ていただくと安心だと思いますが、女性の患者さんがやはり多いですか？

A：年齢はさまざまですが、新患の方も再診の方も女性の患者様が多く、大体 2:1 または 2.5:1 の割合となっています。また、特に火曜日午後の女性専門外来では飲み物や繊維入りクッキーを用意して、診察までの間に自由に飲んでいただいています。

Q：連携についてどのような患者さんが受け入れ可能ですか？

A：特殊な処置が必要な場合は難しい場合もありますが、科を問わずに術後のケアや緩和ケア、ターミナルの患者様などの受け入れ、亜急性期の対応は十分可能です。また、外来での化学治療も行っています。今現在のところでは、リハビリの対応が当院ではできませんので、脳外科の患者様の受け入れは難しいかと思

ますが、緩和ケア的な患者様は療養環境からいいますと、ゆったりと過ごしていただけたらと思います。

Q：医療連携相談室についてお聞かせいただけますか？  
A：当院のようにベッド数 27 床という小規模の病院で専属の相談員を置いているところはとても少ないと思われると思います。これは病院の理念でもある「小さくてもベスト」をめざす中で生まれたものです。

多くの患者様は、高度急性期病院での治療を終えた後、ある程度回復期になると当院に紹介されてくるわけですが、その後のこと、在宅に繋いでいく場合や、やむをえず施設や他院へ転院される場合など、一人ひとりの患者様・家族に対して「小さくてもベスト」小さいからこそできる、きめ細やかな対応をしていこうと約 6 年前に設置され現在に至っています。

Q：医療連携について力を入れていきたいことはありますか？

A：私（医療相談員、岡林さん）は今までに地域で保健師やケアマネジャーの仕事を経験してきました。その中で、入院中から在宅スタッフとタッグを組んで退院後のケア、介護保険のサービスを調整し、安心して在宅に帰っていただくことの大切さを学びました。この学びを大切に、今後も病院（医療）と地域を繋ぐ架け橋としての役割を果たしていきたいと考えています。病院連携については、当院の特徴・特色を理解していただく努力と「迅速な対応」を心がけていきたいと考えています。

Q：最後に高知医療センターに何かご意見等はございますか？

A：医療センターの先生方はいつもきちんとお返事もくださいますし、本当に困った時には引き受けていただいていますし、連携が安心してできていると思います。



お忙しいなか取材にご協力いただきありがとうございました。

## 高知医療センター イベント情報

日	曜	5月～
5/23	金	<b>高知医療センター医療安全管理研修会(★)</b> 場所：高知医療センター2階 くろしおホール 時間：18:00～
26	月	<b>第29回高知医療センター救命救急センター救急症例検討会</b> 場所：高知医療センター2階 くろしおホール 時間：17:30～ お問い合わせ：高知医療センター 救命救急センター
29	木	<b>糖尿病患者会「高知かなえの会」5月例会</b> 場所：高知医療センター1階 研修室 時間：17:30～18:30 お問い合わせ：高知医療センター 代謝・内分泌科 深田順一
30	金	<b>ポर्टフォリオの活用と目標管理</b> 場所：高知医療センター2階 くろしおホール 時間：17:30～19:30 講座内容：1. ポートフォリオとは/ポートフォリオの本質/ポートフォリオの活かし方について基本的な知識とフェーズを学ぶ 2. ポートフォリオ手法が目標管理にどのように活用できるのか 講師：千葉大学教育学部特命教授 一級建築士 鈴木敏恵先生 対象者：医療関係者（院外部の医療関係者の方も参加できます） 参加費：無料 お問い合わせ：高知医療センター看護局吉村まで
6/上旬	未	<b>恒例・図書まつり（医学、看護、その他医療関係の図書を展示・即売）</b> 場所：高知医療センター2階 なるほどライブラリ 時間：11:00～18:00 お問い合わせ：高知医療センター なるほどライブラリ 橋田圭介
14	土	<b>第26回日本臨床外科学会 高知県支部会</b> ※講演内容等の詳細は決まり次第ご連絡いたします。 場所：高知医療センター2階 くろしおホール 時間：15:30～ お問い合わせ：高知医療センター
20	金	<b>平成20年度高知県周産期症例検討会</b> 場所：高知医療センター2階 くろしおホール ※講演内容等の詳細は決まり次第ご連絡いたします。 お問い合わせ：高知医療センター 森岡信之 時間：18:30～（2時間程度）
22	日	<b>栄養士研修会：栄養アセスメントーメタボリックシンドローム管理の実際ー</b> 場所：高知医療センター2階 くろしおホール 時間：13:00～ 講師：武庫川女子大学 植物栄養科教授 雨海照祥先生 共催：ネスレニュートリション 参加費：1,000円（会員） 3,000円（会員外） 申し込み：6月16日（月）までに栄養士会事務局まで お問い合わせ：栄養士会事務局 電話/FAX：088（872）9411 ※この研修会は生涯学習振り替え認定の1単位となります。日本糖尿病療養指導認定更新（第1群）の1単位となります。

※時間等、変更になる場合もございます。ご了承ください。（★院内職員向け）

### お知らせ：画像 Viewer soft のマニュアルをインターネットに掲載しました！

高知医療センターの画像診断部門で実施した放射線検査画像（一般撮影、X-TV、CT、MRI、核医学検査、血管造影）を、CD出力した際の画像 Viewer soft 簡易マニュアルを、高知医療センターホームページ（地域医療機関の皆様へ）内に掲載しましたので、ご利用ください。（医療技術局 画像診断部）

### 編集後記

つい最近まで満開であった桜の木も緑が増え、高知ならではのキラキラした日差しが射す日が多くなって参りました。またあの暑い夏がそこまできています。私事ではありますが、高知へ転居して早くも2年が経過しました。身寄りもなく不安だらけの再出発でしたが、いろいろな方に支えられ今日まで業務が行えていることに感謝しております。着任した当時の業務はシステムの運営保守管理でしたが、日が経つにつれ診療情報管理、DPC、データ分析などの業務が増え続け、今年度より更に地域医療センターに関わることになりました。何がどうなっているのかわからない状況で、バタバタした日が続いていますが、何か楽しい病院です。この楽しい病院である「高知医療センター」だからできる地域連携の強化を目指して医療機関への訪問等を積極的に進めて参りますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。（地域医療センターコーディネーター 清水）



広報誌「にじ」に関するご要望・ご意見等をお寄せください。renkei@khsc.or.jp  
 Kochi Health Sciences Center Home Page :http://www2.khsc.or.jp/